塩野町地域まちづくり協議会
定期総会議案書

塩野町地域まちづくり協議会の理念
～交流と助け合いを通じて、
いつまでも住み続けられる固有の環境を整える～

第１号議案

令和元年度事業報告、収支決算報告並びに会計監査報告について

令和元年度の事業報告、収支決算報告並びに会計監査報告について、別紙により承認を求めます。

令和２年 ４ 月10日提出

塩野町地域まちづくり協議会
会 長　中 山 好 栄

■令和元年度事業報告(会議開催日程)

≪役員会・評議員会≫

開催日等		時間	会場	検討内容
副部会長 以上会議	４月3日(水)	午後7時 から	塩野町公民館	・総会議案書の確認
定期総会	４月13日(土)	午後5時 から	朝日みどりの里 体験交流 センター	・平成30年度事業実績、収支決算報告 ・平成30年度事業計画、収支予算
第1回役員会	6月29日(土)	午後5時 から	朝日みどりの 里	・各部会の取組状況を情報交換
第2回役員会	10月10日(木)	午後7時 から	塩野町公民館	・11/10(日)秋の大収穫祭について 開催概要と当日のスケジュール、役割分担等の確認
第1回評議員会 （区長方）	12月24日(火)	午後2時 から	文化会館	・令和元年度事業の進捗状況 ・役員改選に伴う新役員と代議員の選出について ・今後の予定について
部会長 以上会議	3月5日（木）	午後7時 から	本小須戸公民館	・令和元年度事業の進捗状況 ・新年度事業と予算（案）について
新旧役員会議	3月25日（水）	午後7時 から	塩野町公民館	・新旧役員引継ぎ ・新年度事業について
第2回評議員会 （区長方）	3月31日（火）	午後7時 から	塩野町公民館	・令和2年度定期総会資料の確認 ・今年度以降の事業展開について

第１回役員会

新旧役員会

≪専門部会≫

開催日等		時間	会場	検討内容
あぐり ふれあい 部会 【産業振興部門】 【交流・ 伝承部門】	4月25日(木)	午後7時 30分から	本小須戸公民館	・今年度の活動について
	5月30日(木)	午後7時 30分から	本小須戸公民館	・収穫祭について ・あさひまつりへの協力について
	6月20日(木)	午後7時 30分から	本小須戸公民館	・学校行事支援について ・収穫祭について
	7月25日(木)	午後7時 30分から	本小須戸公民館	・収穫祭について ・ふれあいフェスタinさべりについて
	8月22日(木)	午後7時 30分から	本小須戸公民館	・収穫祭について ・ふれあいフェスタinさべり（報告）
	9月26日(木)	午後7時 30分から	本小須戸公民館	・秋の大収穫祭について ・あさひまつりへの協力について
	10月10日(木)	午後8時 から	塩野町公民館	・秋の大収穫祭について
	10月31日(木)	午後7時 30分から	本小須戸公民館	・秋の大収穫祭について ・あさひまつりについて（報告）
	11月29日(金)	午後7時 30分から	本小須戸公民館	・秋の大収穫祭について（振り返り）
	1月16日(木)	午後7時 30分から	本小須戸公民館	・郷土料理レシピ集について ・次年度事業について
	2月20日(木)	午後7時 30分から	本小須戸公民館	・次年度事業について

秋の大収穫祭

≪専門部会≫

開催日等		時間	会場	検討内容
スクラムネット 観光部会 【共助・観光】	4月24日(水)	午後7時から	大須戸公民館 (担い手センター)	・今年度の活動について
	5月29日(水)	午後7時から	大須戸公民館 (担い手センター)	・集落散策事業について ・人材育成事業、環境美化活動について
	7月4日(木)	午後7時から	大須戸公民館 (担い手センター)	・集落散策事業について ・旧塩野町小学校除草作業ふりかえり
	7月30日(火)	午後7時から	大須戸公民館 (担い手センター)	・集落散策事業について ・人材育成事業、環境美化活動について
	8月30日(金)	午後7時から	蒲萄公民館	・集落散策事業について
	2月14日(金)	午後7時から	大須戸公民館 (担い手センター)	・今年度事業の振り返り ・次年度事業について

6/2　旧塩野町小学校グラウンド除草作業

お宝めぐりin蒲萄

≪専門部会≫

開催日等		時間	会場	検討内容
ほっとニュースステーション 【企画・広報部門】	4月17日（水）	午後7時から	本小須戸公民館	・今年度の活動について ・6月15日号第29号編集会議
	5月22日（水）	午後7時から	本小須戸公民館	・通信製作契約について ・6月15日号第29号編集会議 ・集落活性化支援事業審査
	6月26日（水）	午後7時から	本小須戸公民館	・9月15日号第30号編集会議 ・視察研修について
	7月24日（水）	午後7時から	本小須戸公民館	・9月15日号第30号編集会議 ・集落活性化支援事業審査 ・視察研修について
	8月28日（水）	午後7時から	本小須戸公民館	・9月15日号第30号編集会議 ・集落活性化支援事業審査
	9月18日（水）	午後7時から	本小須戸公民館	・12月15日号第31号編集会議 ・集落活性化支援事業審査
	10月23日（水）	午後7時から	本小須戸公民館	・12月15日号第31号編集会議 ・集落活性化支援事業審査
	11月20日（水）	午後7時から	本小須戸公民館	・12月15日号第31号編集会議 ・集落活性化支援事業審査
	1月22日（水）	午後7時から	本小須戸公民館	・3月15日号第32号編集会議 ・集落活性化支援事業審査
	2月19日（水）	午後7時から	本小須戸公民館	・3月15日号第32号編集会議 ・今年度事業振り返り ・次年度事業について

長岡市山古志地区　視察研修

あぐりふれあい部会

事 業 報 告 書

事業名・取組項目	実施時期	対象･人員	取 組 内 容	効果･課題等
(1) 地域農産物を流通させるしくみを作る				
まちづくり コロッケ生産補助	通年	地域内 全域	ふれあいフェスタin さべり・あさひまつり・秋の大収穫祭で販売。原材料購入費 30,000 円を補助。	地産地消のため生産補助。ふれあいフェスタ in さべりにて 164 個、あさひまつりにて 287 個、収穫祭にて 250 個販売した。
(2) 地域農産物を味わう催しを開催する				
秋の大収穫祭	前日準備 11/9 (土) 9：00～	―	☆会場清掃と設営準備 役員 21 名、平山電気商会1名、ボランティア1名、各集落協力員	８回目の開催。 今回も、地域農産物の流通を促すため、農産物販売者をチラシでの公募と、役員が集落内に声掛けして野菜を集荷、農産物直売ブースにて販売した。 今年度は塩野町小学校が閉校となった影響で、学校設備・備品等の利用に制限があったが、例年と同規模の収穫祭を行うことができた。 塩野町地域の秋の恒例行事となっており、「塩野町小学校で行う」秋の大収穫祭が地域にとって重要なイベントとなっていることが感じられた。
	11/10 (日) 10：00 から 13：30 旧塩野町 小学校 体育館	ﾁｹｯﾄ 販売数 397 枚	☆出店内容： ・大海１種 ・集落の一品料理６品目 （村上牛煮込み汁、杵つき餅、秋野菜たっぷり卵焼き、さつまいものごま団子、ふろふき大根、新米おにぎり） ・協力員 49 人 ・農産物の直売３店 ・農産物直売 ・大須戸ピザとコーヒーの販売 ・わたあめ ・家電の実演(平山電気商会)	
(3) 地域内で地場農産物などを販売購入する機会・場を提供する				
買い物困難者対策の検討	通年	地域内	秋の大収穫祭にて、野菜を集荷して、農産物直売ブースを設置。	継続した取り組みにしていくことができれば、課題解決の一助となる。
(4) 学校行事支援、世代や集落を超えた地域全体の交流を促し、つながりを深める				
学校行事支援・ 地域行事の開催	1月21日 ～ 1月31日	延べ８名	小学校スキー授業、スキー指導ボランティア。 ※令和元年度は雪不足により授業が中止。	さくら小学校の行事にマンパワー等の支援を行い、事業を補助。
(5) 集落の食文化を伝承する取り組みを行う				
郷土料理レシピ収集の検討	通年	地域内	今までの秋の大収穫祭で提供したメニューのレシピをまとめた冊子を作成する事を検討。	どのような冊子にするか意見集約を行い。来期中の発行を目指すことにした。

スクラムネット観光部会

事 業 報 告 書

事業名・取組項目	実施時期	対象・人員	取 組 内 容	効果・課題等
(1) お宝マップを活用し、地域資源を生かすための取り組みを行う				
お宝めぐり in 蒲萄	9/8 (日)	参集者 23名	『しおのまち図』を活用し、途絶えがちな地域の伝承情報を異世代間で交流し、集落を深く知るためのまち歩きを開催。	漆山神社（矢喰明神）、長池、池ノ平の棚田、どんぐり清水など、蒲萄の「お宝」を巡った。 漆山神社の明神岩、ご好意で立ち寄らせていただいたニジマス養殖場での餌やり、どんぐり清水での川遊びなど、当日は蒲萄の自然を体験するまち歩きとなり、子どもたちにとっては「お宝発見」、大人にとっても「お宝再発見」となったのではないか。 今後も小学生やその親世代に多く参加してもらえるような催しにして、地域のことを語れる人を増やし、地域資源を活用できるようになることを目的としていきたい。
(2) 地域を支える人材を育成し、相互扶助及び小規模多機能自治を推進強化する				
人材育成事業	―	―	―	―
(3) 環境美化活動を行う				
旧塩野町小学校グラウンド除草作業	6/2(日) 8/4(日) 計２回	参集者 延べ 97名	地域の景観保全（環境美化活動）と、まちづくり活動参加のきっかけ作り（人材育成事業）を目的に、閉校後雑草が生い茂っていた旧塩野町小学校グラウンドの除草作業を実施した。	想定を上回る、２日間延べ97名（うち、まち協役員以外の参加者が延べ65名）の方に参加いただき、２日間とも１時間程度の作業でグラウンド全てを除草することが出来た。 また、まちづくり協議会の事業に初めて参加したという方もおり、「きっかけ作り」という目的も果たせた。

お宝めぐり in 蒲萄

8/4 旧塩野町小学校グラウンド除草作業

ほっとニュースステーション

事 業 報 告 書

	事業名・取組項目	実施時期	対象･人員	取 組 内 容	効果･課題等
(1) 地域情報を掲載した印刷物をつくる					
	『地域広報誌』の発行	発行回数年４回 6/15 9/15 12/15 3/15	地域内 全戸配布	発行サイズ…A3 判 ☆掲載内容 ①特集…協議会や各集落の地域行事を中心に取り上げる ②まちづくりの輪…地域の方々の Q&A によるリレー人物紹介 ④地域の行事予定一覧	今年度はまち協イベントや各集落行事の掲載を行う際、写真を多めに使うようにして、「手に取りやすい（読みやすい）広報誌」となるように編集した。
(2) まちづくりに関する学習機会や情報を提供し、地域振興につなげる					
	先進地視察研修	11 月 23 日 （土）	延べ 18 名	舘腰・三面まち協と合同で実施。中越地震により甚大な被害を受けた旧山古志村に赴き、語り部から当時のお話を伺った。	震災を経験した方が語った「被災家屋から人を救助する時や避難所生活の時、最も役に立った備えは、普段から集落内や地域内で積み重ねてきた親交や信頼。」との言葉が印象的であった。
(3) 集落行事を地域全体で盛り立てる仕組みをつくる					
	集落活性化支援	通年	地域内 全集落	集落単位などで行われている事業について支援する。 各集落限度額：75,000 円	集落の交流に寄与することができた。

集落活性化支援　原小須戸
そうめん流し

集落活性化支援　松岡
ニジマスつかみ取り

朝日地区まちづくり協議会連絡会議連携事業

事 業 報 告 書

事業名・取組項目	実施時期	対象･人員	取 組 内 容	効果･課題等
朝日地区 まちづくり研修会 （合同研修事業）	8/3 (土)	村上市内 全地区の まちづくり 協議会 朝日地区から７名参加	都岐沙羅パートナーズセンター主催の第１回まちづくり円卓会議に参加。 【ワークショップ】 テーマ：10 年後の課題や問題について小グループに分かれて意見交換	10 年後の地域の課題や問題について小グループに分かれて意見交換を行い、まち協のまちづくり計画の方針・活動の参考となった。
あさひフォト コンテスト	7/1 (月) ～ 8/30 (金)	応募数： 32 点	朝日地区内で撮影された写真を募集。今年から中学生部門を新設し、インスタグラムや審査員による審査を行い、あさひまつりで表彰式を行った。	朝日地区の５協議会で取り組むことで、広く作品を募集でき、効率よく事業を実施できた。
あさひまつり	10/20 (日)	当まち協から７名参加	あさひまつりにて、朝日地区まち協として参加。 当協議会では、まちづくりコロッケを販売し、287 個を完売。	塩野町地域まちづくり協議会の知名度を上げ、名物料理の提供で地域の食文化やおいしい地場産農産物を PR することができた。
朝日地区まち協 合同広報誌	12/1 (土)	朝日地区 全戸配布	地域を超えて、朝日地区まち協の取り組みや地域おこし協力隊の活動を広く周知することを目的に発行した。	各まち協の活動について、広く周知することが出来た。
森林環境教育 促進事業	通年	朝日 中学校	公益社団法人国土緑化推進機構の助成金及び PTA・まち協からの負担金により、朝日中学校の森林環境教育プログラムとして学校林を整備。	森林環境教育に寄与することができた。

他団体からの参画要請及び連携推進

事業名・取組項目	実施時期	対象･人員	取 組 内 容	効果･課題等
朝日地区地域会議 あさひまつり実行委員会 あさひ互近所ささえ～る隊	通年	－	地域会議では「子育て支援」を目的に12月１日に「わくわくバザー」を実施。ささえ～る隊では地域福祉室とともに、集落座談会を実施した。	他団体と連携・情報共有することで、地域の課題解決に役立てられる。

あさひまつり

わくわくバザー

令和元年度　塩野町地域まちづくり協議会収支決算書

収入　　単位：円

区分	決算額	予算額	比較	説明
1　地域まちづくり交付金	1,825,000	1,825,000	0	まちづくり交付金(H31.1.1現在)
2　繰越金	264,560	265,000	△ 440	前年度繰越金
3　繰入金	0	0	0	
4　雑入	270,708	220,000	50,708	大収穫祭入場料198,500円 あさひまつり売上金28,700円　ほか
合計	2,360,268	2,310,000	50,268	

支出　　単位：円

区分	事業	決算額	予算額	比較	説明
1	農産物交流事業【あぐり】	543,828	550,000	△ 6,172	
	1　農産物交流事業	481,972	480,000	1,972	秋の大収穫祭
	2　地域農産物販売拡大事業	61,856	70,000	△ 8,144	あさひまつり郷土料理経費・加工品の販売拡大
2	交流・伝承経費【あぐり】	15,555	83,000	△ 67,445	
	1　地域交流事業	15,555	83,000	△ 67,445	伝統料理レシピ収集・地域間交流事業
3	共助・観光経費【スクラム】	75,203	110,000	△ 34,797	
	1　観光資源整備事業	75,203	110,000	△ 34,797	お宝めぐり・人材育成事業・環境美化活動
4	企画・広報経費【ほっと】	277,328	327,000	△ 49,672	
	1　情報発信事業	226,720	227,000	△ 280	まちづくり通信の発行(年4回)
	2　まちづくり学習会事業	50,608	100,000	△ 49,392	先進地視察
5	集落活性化支援経費【ほっと】	455,000	600,000	△ 145,000	
	1　集落活性化支援事業	455,000	600,000	△ 145,000	8集落×75,000円
6	組織運営経費	554,980	628,000	△ 73,020	
	1　役員等報償費	293,000	320,000	△ 27,000	役員報酬246,000円・総会時報償費74,000円
	2　需用費	92,117	95,000	△ 2,883	消耗品、印刷費等
	3　役務費	41,863	80,000	△ 38,137	郵便料・振込み手数料
	4　使用料及び賃借料	31,000	36,000	△ 5,000	部会開催時公民館借り上げ料
	5　負担金	97,000	97,000	0	朝日地区まちづくり協議会連絡会議負担金
	6　拠点準備費	0	0	0	
7	予備費	0	12,000	△ 12,000	
	1　予備費	0	12,000	△ 12,000	予備費
合計		1,921,894	2,310,000	△ 388,106	

収入合計		支出合計		次年度繰越金
2,360,268	－	1,921,894	＝	438,374 円

積立金

名称	増加	減少	現在高	説明

令和元年度　塩野町地域まちづくり協議会　集落活性化支援事業一覧表

集落名		塩野町		松岡		早稲田	
		①	②	①	②	①	②
団体名		塩野町公民館	塩野町公民館	松岡公民館	松岡公民館	早稲田公民館	早稲田公民館
事業名		子ども神輿、仮装盆踊り	お里様	ニジマスのつかみどり大会	集落敬老会	白山神社祭礼の子ども神輿巡行	仮装盆踊り大会
実施の場所		塩野町区内	塩野町区内及び熊野神社	松岡区 掲示板前	集落センター	集落全域を巡行	常林寺境内
事業の内容		昼間は子ども神輿２基の巡行にて、沿道住民が集まり声援を受ける。参加人員は40人ほど。 夜は住民老若男女約160人がそろい、仮装盆踊大会を行う。帰省してきた人々もふるさとの夏を楽しんだ。また、景品が用意されアイディアあふれる仮装等に贈られた。	集落男性30人ほどで、稲藁から長さ5m重さ70ｋｇの〆縄を作り、その〆縄を、女性の長襦袢を身につけて顔に面白おかしく化粧した男性が御酒とともに担いで集落内を練り歩き、熊野神社に奉納する。前夜祭26名、行列20名、沿道では、大勢の集落の人や写真愛好家ら100名ほどが待ち受け、嫁入りに見立てた一行を箱根節や長持唄で迎える。	主たる事業内容は、集落住民と帰省客の子ども達に『ニジマスのつかみどり』を体験してもらい、その場で焼いて食べるもの。 大人には魚を捌き焼いてもらう。また大きなものは刺身にして食べてもらい、その他、魚が焼き上がるまで、焼きそば・焼き鳥・フランクフルトを振舞ったり、スイカ割りのイベントを実施した。 参加家族は27家族で46人程度の参加があった。	足腰の不自由な方はトイレの行き来や、遠方への移動が大変である。そこで、身近な場所で、気心の知れた方々同士で有意義な一日を過ごしていただく。内容としては、手品などの催し物や、カラオケ大会（希望者）を実施した。参加人員は敬老者及び集落役員、他関係者15名であった。	集落有志の方々による手作り神輿で、子どもや保護者、集落公民館役員など総勢50名ほどがお揃いの法被を着て集落内を巡行した。巡行時には沿道に集落の皆さんが大勢集まり、子どもたちに大きな声援を頂き、休憩時にはスイカやジュース等の提供もあり大変喜ばれた。	仮装盆踊り大会に参加する踊り子は背に仮装名を示して踊り、審査の結果により様々な賞に応じて景品を提供した。 終盤には盆踊りに来場された方約250名での抽選会を行い、多数の景品を提供した。
実施年月日		令和元年8月14日	令和元年12月8日	令和元年8月14日	令和元年9月8日	令和元年7月14日	令和元年8月15日
収入		助成金 40,000	助成金 35,000	助成金 50,000	助成金 25,000	助成金 30,000	助成金 45,000
		集落負担金 43,393	集落負担金 49,298	参加費 40,000	集落負担金 50,000	集落負担金 40,000	集落負担金 50,000
				集落負担金 10,000	参加費 5,000	公民館負担金 36,868	公民館負担金 50,961
	計	83,393	84,298	100,000	80,000	106,868	145,961
支出		消耗品費（景品ほか） 34,333	原材料費 2,194	原材料費 20,000	報償費 15,000	食料費 49,238	消耗品費(景品ほか) 135,531
		食料費 10,060	食材料費 21,964	会場借上料 10,800	食料費 32,957	消耗品費 26,240	食料費 10,430
		報償費 39,000	食料費 32,696	食材料費 46,730	備品購入費 17,940	手数料 26,390	
			報償費 22,000	消耗品費 16,215	消耗品費 10,500	報償費 5,000	
			印刷製本費 880	手数料 4,816	印刷製本費 3,603		
			消耗品費 4564	印刷製本費 1439			
	計	83,393	84,298	100,000	80,000	106,868	145,961
交付決定額		40,000	35,000	50,000	25,000	30,000	45,000
精算額		40,000	35,000	50,000	25,000	30,000	45,000
（手数料）		0	0		880		880

敬老会助成金を差引いた額を
対象経費として算定。

令和元年度　塩野町地域まちづくり協議会　集落活性化支援事業一覧表

集落名		原小須戸		原小須戸		本小須戸		荒沢		大須戸		蒲萄	
		①		②		①		①		①		①	
団体名		原小須戸公民館		原小須戸公民館		公民館、小須戸愛好会、婦人会、消防団		荒沢公民館		大須戸公民館		蒲萄公民館、蒲萄コブシ会	
事業名		原小須戸敬老会		そうめん流し		盆踊り＆第9回大花火大会		荒沢収穫祭・敬老会		敬老会		仮装盆踊り大会	
実施の場所		原小須戸ふれあいセンター		原小須戸ふれあいセンター		小須戸ふれあいセンター周辺		荒沢ふれあいセンター		大須戸担い手センター		第三駐車場	
事業の内容		集落住民全員を対象。敬老者は招待として、22名の参加があった。舞踊などのアトラクションを見ながら食事・歓談をして集落内の親睦を図ることができた。		集落住民と帰省された方など30名程が参加。竹のといを使ったソーメン流し、焼き鳥・焼肉などを行い、住民・帰省された方の交流の場となり親睦を深めることができた。		集落民、帰省客、近隣の方を含め約150人が参加した。盆踊りをメインにマジックショー、様々な露店や焼き鳥などを特価で振る舞い、最後には大花火大会を開催した。		集落住民全員を対象、敬老者は招待として、44名が参加した。 集落農産物で豚汁を作り、そば打ち講習会で作り方を体験した。その後、敬老会として、そばと豚汁を振る舞い、アトラクションでマジックショーなどを開催した。		集落民及び外部参加者によるアトラクションや敬老者参加によるカラオケ大会を実施した。アトラクション参加者は小学生から、50代中盤まで幅広い年齢層が顔をそろえた。		集落住民と帰郷した人を含め約100人ほどが参加。 仮装してくれる人を募集し、子どもの部、大人の部に分けて、1位～3位までの順位を決め、賞品を出す。また参加者全員に参加賞を渡す。	
実施年月日		令和元年10月7日		令和元年8月14日		令和元年8月14日		令和元年12月1日		令和元年9月16日		令和元年8月14日	
収入		助成金	35,000	助成金	10,000	助成金	75,000	助成金	41,000	助成金	39,000	助成金	30,000
		集落負担金	38,393	集落負担金	11,482	参加費	60,000	参加費	13,000	お祝い金	23,000	公民館負担金	42,456
		個人負担金	6,000			区負担金	10,000	公民館負担金	31,178	区負担金	17,936		
						露店売上	7,100						
	計		79,393		21,482		152,100		85,178		79,936		72,456
支出		食料費	36,587	食材料費	11,284	原材料費（花火代）	139,569	食材料費	18,692	食料費	20,719	消耗品費	41,516
		消耗品費	32,806	食料費	198	消耗品費	7,520	食料費	20,286	消耗品費	33,304	食材料費	30,940
		報償費	10,000	報償費	10,000	食材料費	5,011	報償費	35,000	謝礼	5,000		
								備品購入費	7,200	報償費	14,649		
								印刷製本費	4,000	借上料	6,264		
										手数料			
	計		79,393		21,482		152,100		85,178		79,936		72,456
交付決定額			35,000		10,000		75,000		41,000		75,000		30,000
精算額			35,000		10,000		75,000		41,000		39,000		30,000
（手数料）					660		880		660		660		660
								敬老会助成金を差引いた額を対象経費として算定。		敬老会助成金を差引いた額を対象経費として算定。			

備　品　台　帳

No.	分　類	物　　品	規 格	購入日	価 格	購入先	保管場所	備 考
1	厨房器具	タイガー業務用炊飯ジャー〈炊きたて〉(電気式)	JNO-A	H25.11.11	36,750	㈱平山電気商会	朝日支所まちづくり協議会物品庫	
2	厨房器具	アカオ料理鍋	60cm 63ℓ	H26.9.19	47,520	㈱タムラ	朝日支所まちづくり協議会物品庫	
3	厨房器具	アカオ料理鍋	60cm 63ℓ	H27.11.5	47,520	㈱タムラ	朝日支所まちづくり協議会物品庫	
4	写真・光学器具類	デジタルカメラ	CANONEOS	H27.12.15	31,860	㈾ほんぼ	朝日支所事務室	猿沢地域まちづくり協議会と共有
5	厨房器具	アカオ料理鍋	60cm 63ℓ	H28.3.21	47,520	㈱タムラ	朝日支所まちづくり協議会物品庫	
6	厨房器具	キプロスター　ホットショーケース	PRO-4WSE	H29.10.16	47,520	㈾ほんぼ	朝日支所まちづくり協議会物品庫	
7	厨房器具	リンナイガス炊飯器	PR-30S1	H30.3.22	36,720	㈾ほんぼ	朝日支所まちづくり協議会物品庫	
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

監 査 報 告 書

塩野町地域まちづくり協議会規約第18条第2項の規定に基づき、令和元年度塩野町地域まちづくり協議会事業報告書、収支決算書について監査を実施しましたので報告します。

監査の結果

（1）収入支出の証拠書類及び預金通帳を照合した結果、誤りなく適正に処理していると認めます。

（2）事業報告書は、塩野町地域まちづくり協議会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

令和2年3月29日

監事　大滝正学　大滝

監事　小林一博　小林

第２号議案

役員改選について

令和２・３年度の役員について、別紙役員名簿（案）により承認を求めます。

令和２年４月10日提出

塩野町地域まちづくり協議会
会 長　中 山 好 栄

塩野町地域まちづくり協議会　役員名簿（R2年度）

~~（案）~~

NO.	部会名	役職	集落	氏　　名	性別	備考
1	◆あぐりふれあい部会	部会長	本小須戸	小田（おだ） さなえ	女	
2		副部会長	松　岡	大滝（おおたき） 和之（かずゆき）	男	
3		副部会長	早稲田	富樫（とがし） 弘美（ひろみ）	女	
4		理事	塩野町	本間（ほんま） みづえ	女	
5		事務局長	塩野町	本田（ほんだ） 典子（のりこ）	女	
6		理事	早稲田	富樫（とがし） 潤（じゅん）	男	
7		理事	早稲田	富樫（とがし） 明夫（あきお）	男	
8		副会長	早稲田	相馬（そうま） 婦美子（ふみこ）	女	
9		理事	荒　沢	板垣（いたがき） 義勝（よしかつ）	男	
10		副会長	荒　沢	大滝（おおたき） 茂幸（しげゆき）	男	
11		理事	大須戸	板垣（いたがき） 道代（みちよ）	女	
12		理事	大須戸	中山（なかやま） 勝春（かつはる）	男	
13		理事	大須戸	中山（なかやま） 大禎（ひろよし）	男	
14		理事	蒲　萄	中山（なかやま） 保洋（やすひろ）	男	
15		理事	蒲　萄	菅原（すがはら） 一樹（いつき）	男	
16	◆スクラムネット観光部会	部会長	大須戸	中山（なかやま） 惣衛（そうえい）	男	
17		副部会長	塩野町	小田（おだ） りい	女	
18		理事	塩野町	小田（おだ） 光雄（みつお）	男	
19		監事	松　岡	大滝（おおたき） 正栄（まさえい）	男	
20		理事	早稲田	相馬（そうま） 浩美（ひろみ）	女	
21		理事	大須戸	中山（なかやま） 哲也（てつや）	男	
22		理事	大須戸	板垣（いたがき） 美奈子（みなこ）	女	
23		理事	蒲　萄	菅原（すがはら） 靖（やすし）	男	
24	◆ほっとニュースステーション	部会長	早稲田	相馬（そうま） 千恵子（ちえこ）	女	
25		副部会長	塩野町	小田（おだ） 与司夫（よしお）	男	
26		理事	松　岡	大滝（おおたき） 憲雄（のりお）	男	
27		理事	原小須戸	渋谷（しぶや） 真一（しんいち）	男	
28		理事	本小須戸	富樫（とがし） 稔（みのる）	男	
29		監事	荒　沢	小林（こばやし） 一博（かずひろ）	男	
30		理事	蒲　萄	大竹（おおたけ） 茂彦（しげひこ）	男	
31		会長	大須戸	中山（なかやま） 好栄（よしえい）	男	
合計		31名		男性21名・女性10名		
		事務局		高橋（たかはし） 威（たけし）	男	

第３号議案

令和２年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

令和２年度の事業計画及び収支予算について、別紙（案）により承認を求めます。

令和２年４月10日提出

塩野町地域まちづくり協議会
会 長　中 山 好 栄

令和2年度　事業計画書（案）

区　分	事業名・取組項目	実施時期	対象･人員	取組内容	備考
部会名	○地域農産物を流通させるしくみを作る				
あぐりふれあい部会 産業振興部門・交流・伝承部門	まちづくりコロッケ生産補助	通年	イベント 学校給食	地元の農産物加工品の販売の仕組み「まちづくりコロッケ」を持続可能なものとするため、食材提供者募集及び材料費補助を行う。	あさひまつり等イベントで提供
	○地域の農産物を味わう催しを開催する				
	大収穫祭に変わる事業の開催	11/8（日）旧塩小体育館予定	地域内	地元食材を使った伝統料理で、地域のコミュニティをさらに賑やかにするとともに、地域の良さを再認識する。	施設状況に合わせて、形態・規模を検討する
	○地域内で地場農産物などを販売・購入する機会・場を提供する				
	買い物困難者対策の検討	通年	地域内	今後、高齢化が進み、買い物困難者が増えることが予想されるため、助け合う仕組みを検討する。	支援方法及び現状の調査
	○地域おこし協力隊とも連携し、世代や集落を越えた地域全体の交流を促し、つながりを深める				
	学校行事支援・地域行事の開催	通年	地域内	さくら小学校の行事へ人的・金銭的支援と、世代間交流を図ることを目的とした地域行事の実施を検討する。	学校・猿沢まち協と協議
	○集落の食文化を伝承する取り組みを行う				
	秋の大収穫祭レシピ集の発行	未定	地域内	過去行った秋の大収穫祭で提供した郷土料理・名物料理をレシピ集として発行する。	今年度レシピ集発行を目指す
スクラムネット観光部会 共助・観光部門	○お宝マップを活用し地域資源を活かすための取り組みを行う				
	集落散策事業	10/11（日）予定	地域内	マップを活用し、多くの世代で参加できる散策事業を実施。（早稲田・松岡集落で実施予定）	
	○地域を支える人材を育成し、相互扶助及び小規模多機能自治を推進強化する				
	人材育成事業	未定	地域内	各集落から協力者を募り、事業を計画・実施することにより、集落を超えたつながり･人材育成を目指す。	地域運動会・スポーツ大会(仮)に伴うグラウンド整備など
	○環境美化活動を行う				
	環境美化活動	未定	地域内	環境美化活動の検討。	
ほっとニュースステーション 企画・広報部門	○地域情報を掲載した印刷物をつくる。				
	『まちづくり通信』の発行	四半期ごと	地域内全戸配布	地域の行事や、協議会の取り組み状況を集約し、情報を共有する。	6・9・12・3月の、年4回発行。
	○まちづくりに関する学習機会や情報を提供し、地域振興につなげる				
	まちづくり講演会	未定	地域全体	先進地視察・まちづくり講演会を、交互に１年おきに実施。	講演会
	○集落行事を地域全体で盛り立てる仕組みをつくる。				
	集落活性化支援事業	通年	地域全域	集落単位などで行われている事業について金銭的支援を行う。	集落上限75,000円
朝日地区まちづくり協議会連携事業	あさひまつり	10/18（日）	朝日地区	地域の特性を活かした一体感の醸成と地域活性化	10/18（日）朝日みどりの里
	あさひフォトコンテスト	10/18（日）	市内外	7～8月に写真を募集。	あさひまつりで表彰式
	朝日地区まち協連絡会議研修事業	7～8月	文化会館	朝日地区まち協役員を対象に、講演会などの研修事業を開催。	
	合同広報紙の発行	12月	朝日地区	朝日地区まち協合同広報誌「まち協あさひ」発行(朝日地区全戸配布)	年1回発行
他団体からの参画要請及び連携推進	朝日地区地域会議 あさひまつり実行委員会 あさひ互近所ささえ～る隊	通年	-	地域課題に取り組むまちづくり協議会としての意見が求められており、当まちづくり協議会から、役員が委員として事業に協力している。情報共有及び連携推進を行う。	

※上記事業含め、役員で意見を交わしながら、地域の実情に応じた柔軟な取り組みを行っていきます。

令和2年度 収支予算書（案）

収　入

区　　分	本年度予算額	前年度予算額	比　較	説　　明
1 地域まちづくり交付金	1,807,000	1,825,000	△18,000	市地域まちづくり交付金 (R2.1.1基準)
2 繰越金	439,000	265,000	174,000	前年度繰越金
3 繰入金	0	0	0	
4 雑入	170,000	220,000	△50,000	飲食イベント代金、あさひまつり売上金　170,000円
合　　計	2,416,000	2,310,000	106,000	

支　出

区　分	事　　業	本年度予算額	前年度予算額	比　較	説　　明
1 産業振興経費【あぐりふれあい部会】		608,000	550,000	58,000	
	1 農産物交流事業	511,000	480,000	31,000	秋の大収穫祭
	2 地域農産物販売拡大事業	97,000	70,000	27,000	あさひまつり郷土料理経費 加工品の販売拡大
2 交流・伝承経費【あぐりふれあい部会】		110,000	83,000	27,000	
	1 地域交流事業	110,000	83,000	27,000	レシピ集の発行、地域間交流事業 学校支援事業
3 共助・観光経費【スクラムネット観光部会】		110,000	110,000	0	
	1 観光資源整備事業	110,000	110,000	0	お宝めぐり事業・人材育成事業 環境美化活動検討
4 企画・広報経費【ほっとニュースステーション】		329,000	327,000	2,000	
	1 情報発信事業	229,000	227,000	2,000	地域広報誌（年4回発行）
	2 まちづくり学習会事業	100,000	100,000	0	まちづくり講演会
5 集落活性化支援経費【ほっとニュースステーション】		600,000	600,000	0	
	1 集落活性化支援事業	600,000	600,000	0	8集落×75,000円
6 組織運営経費		647,000	628,000	19,000	
	1 役員等報償費	320,000	320,000	0	役員等報償費　246,000円 総会時等報償費　74,000円 （代議員35人、評議員8人、役員31人）
	2 需用費	95,000	95,000	0	消耗品、印刷費等
	3 役務費	80,000	80,000	0	郵便料・振り込み手数料
	4 使用料及び賃借料	36,000	36,000	0	部会開催時公民館借上料
	5 負担金	116,000	97,000	19,000	朝日地区まちづくり協議会連絡会議負担金
	6 拠点準備費		0	0	
7 予備費		12,000	12,000	0	
	1 予備費	12,000	12,000	0	予備費
合　　計		2,416,000	2,310,000	106,000	

収支差引き残高　　0 円

予算の補正及び流用については、会長に一任する。

塩野町地域まちづくり協議会　評議員会(区長会)

集落名	氏　　名	備　　考
塩野町区長	小田（おだ）　保積（ほづみ）	
松岡区長	大滝（おおたき）　重秋（しげあき）	
早稲田区長	富樫（とがし）　敏栄（としえい）	
原小須戸区長	秋山（あきやま）源次郎（げんじろう）	
本小須戸区長	小田（おだ）　昭（あきら）	
荒沢区長	板垣（いたがき）　清一（せいいち）	
大須戸区長	中山（なかやま）　金重（かねしげ）	
蒲萄区長	菅原（すがはら）　忠志（ただし）	

塩野町地域まちづくり協議会　代議員名簿（R2年度）

NO.	集落名	氏　名	再任・新任	備　考
1	塩野町	髙橋　光雄	再	
2		本間　行雄	再	
3		小田　誠	再	
4		堀井　照人	再	
5		板垣　正人	再	
6		小田　勇人	再	
7	松岡	大滝　隆幸	再	
8		大滝　武博	新	
9		大滝　哲也	再	
10	早稲田	富樫　弥寿夫	再	
11		菅原　敏	新	
12		富樫　逸子	再	
13		相馬　徹	再	
14		相馬　周松	再	
15		富樫　富士子	再	
16	原小須戸	渋谷　直喜	再	
17		渋谷　英憲	再	
18		秋山　正幸	再	
19	本小須戸	富樫　悦男	再	
20		齋藤　仁	再	
21		齋藤　正直	再	
22	荒沢	大滝　勝則	再	
23		大滝　三男	再	
24		大滝　由博	再	
25	大須戸	中山　晴夫	再	
26		中山　政幸	新	
27		板垣　利次	再	
28		中山　昌幸	再	
29		中山　藤子	新	
30		中山　博之	新	
31		中山　さおり	再	
32	蒲萄	菅原　千鶴	再	
33		大滝　登志男	再	
34		大滝　優美子	再	
35		菅原　政巳	新	
合計		35名		

資　　料

◆塩野町地域まちづくり協議会規約

◆まちづくり計画書

塩野町地域まちづくり協議会規約

平成２４年３月１８日制定

（目的）

第１条　本会は、塩野町地域の個性や課題に応じた活性化対策を地域に暮らす住民がお互い知恵を出し合い、協力し合って、活気と魅力あふれる元気な地域の創造に資することを目的とする。

（名称）

第２条　本会は、「塩野町地域まちづくり協議会」と称する。

（事務所）

第３条　本会の主たる事務所は、村上市岩沢5611番地(村上市朝日支所内)に置く。

（事業）

第４条　本会は、第１条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

⑴　地域の課題解決、地域振興及び住民交流に関すること。
⑵　健康及び福祉の増進に関すること。
⑶　安全及び安心に関すること。
⑷　環境の保全及び改善に関すること。
⑸　地域資源の有効活用に関すること。
⑹　地域の産業振興に関すること。
⑺　コミュニティビジネス等地域経営に関すること。
⑻　その他、まちづくりに関し、特に必要なこと。

（構成）

第５条　本会は、塩野町地域に居住する人及び塩野町地域で事業を実施する個人若しくは法人又は塩野町地域で活動する各種団体(以下「構成員」という。)をもって構成する。

（役員）

第６条　本会に次の役員を置く。

⑴　会長　　１名
⑵　副会長　　２名
⑶　事務局長　　１名
⑷　理事　　２５名程度
⑸　監事　　２名

２　会長、副会長、事務局長及び監事は、役員会において選出し、総会の承認を得るものとする。

３　役員は、構成員の中から区長等が「別表１」により選出し、総会の承認を得るものとする。

（役員の職務）

第７条　会長は、本会を代表し、会務を総括する。

２　副会長は、会長を補佐し、会長に事故その他やむをえない事情により職務を遂行できないときは、その職務を代行する。

３　事務局長は、本会事務及び会計を総括する。

４　理事は会務の運営にあたる。

５　監事は、本会の事業及び会計の執行状況を監査し、総会に報告する。

（役員の任期）

第８条　役員の任期は、２年とする。ただし、再任は妨げない。

２　補欠により選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

（代議員）

第９条　構成員に代わって総会に出席する代議員を置く。

２　代議員は、本会の構成員から区長等が「別表２」により選出する。

３　代議員は総会において、役員会が提案する議題を審議し、議決する。

４　代議員の任期は、１年とする。ただし、再任は妨げない。

５　本会の役員または評議員は代議員になることができない。

（会議）

第10条　本会の会議は、総会、役員会、評議員会及び専門部会とする。

（総会）

第11条　総会は、代議員をもって構成する本会の最高議決機関であり、本規約に定める事項のほか、本会の目的を達成するために必要な事項を審議決定する。

２　総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

３　通常総会は、毎年度１回以上開催し、臨時総会は、会長が必要と認めたとき、又は、代議員の２分の１以上の請求があった場合に開催するものとする。

４　総会は、委任状を含めた代議員の２分の１以上の出席により成立する。

５　総会の議長は、代議員の互選によるものとする。

６　総会の議事は、出席代議員の過半数で議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

７　総会は、この規約に定める事項のほか、次の各号に掲げる事項を審議する。

⑴　地域まちづくり計画の策定及び変更に関すること。

⑵　規約の制定及び改正に関すること。

⑶　役員の承認に関すること。

⑷　事業計画、事業報告、予算及び決算に関すること。

⑸　その他、重要事項に関すること。

（総会の議事録）

第12条　総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

⑴　日時及び場所

⑵　代議員の現在数及び出席者数（委任状提出者を含む）

⑶　開催目的、審議事項及び議決事項

⑷　議事の経過の概要及びその結果

⑸　議事録署名人の選任に関する事項

２　議事録は、議長及びその会議において選任された議事録署名人２人以上が署名捺印し、事務所に備え付けておかなければならない。

（役員会）

第13条　役員会は、総会に付議する事項及び本会の運営に関する事項を審議、決定する。

２　役員会は、会長、副会長、事務局長、理事及び監事をもって構成し、会長が必要に応じ招集し、議長となる。

３　役員会は、構成する役員の２分の１以上の出席により成立するものとする。

（評議員会）

第14条　本会に評議員会を置く。

２　評議員会は、集落区長、識者等で構成し、本会の運営に係る助言を行うものとする。

３　評議員会は、会長又は評議員の求めに応じ、開催することができる。

（専門部会）

第15条　総会で決定された方針に基づき事業を具体的に企画・実践するため、必要により専門部会を置く。

２　専門部会は、本会の役員で構成する。

３　専門部会には、部会長及び副部会長を置く。

４　部会長は、部会を代表し会務を総括する。

５　副部会長は、部会長を補佐し、部会長が事故あるとき又は部会長が欠けたときは、その職務を代行する。

６　専門部会は、必要に応じて部会長が招集する。

（事務局）

第16条　本会の円滑な運営及び事業実施に資するため、事務局を置く。

２　事務局には、事務局長及び事務局員を置く。

３　事務局員は、会長が任命する。

４　事務局長は、会務及び会計を掌握する。

５　事務局員は、事務局長を補佐し、本会の事務及び会計事務を処理する。

（会計）

第17条　本会の運営等に係る経費は、地域まちづくり交付金及びその他収入をもって充てる。

２　本会の会計年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

３　年度開始後に予算が総会において議決されていない場合においては、会長は、総会において予算が議決される日までの間は、前年度の予算を基準にして収入支出をすることができる。

（監査）

第18条　会長は、事業年度終了後、事業報告書、収支決算書及び積立金台帳を作成して監事に提出し、その監査を受けなければならない。

２　監事は、前項の書類を受領したときは、これを監査し、監査報告書を作成して会長に報告するとともに、会長はその監査報告書を総会に提出しなければならない。

（規約の変更）

第19条　この規約は、総会において総会出席者の３分の２以上の議決を得なければ変更することができない。

（書類及び帳簿の備付け）

第20条　本会の主たる事務所には、本会の事業実施に係る書類、収入及び支出に関する証拠書類並びに帳簿等活動に関する全ての書類を備え付け、公開するものとする。

（個人情報保護の取扱い）

第21条　本会が各種取組みを推進するため必要とする個人情報の取得、利用、提供及び管理については、適正に運用するものとする。

（その他）

第22条　この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が役員会に諮り、別に定める。

附　則

この規約は、平成２４年３月１８日から施行する。

「 別 表 」

１、協議会役員の選出について

・役員は、任期が満了する年の１月１日住民基本台帳の人口により、下表のとおり選出する。

（R2.1.1現在）

集落名	人口	世帯数	基本２名	230人に１名	調整	選出人数
塩野町	436	142	2	2	1	5
松岡	68	26	2	1		3
早稲田	413	138	2	2	2	6
原小須戸	64	20	2	1	−2	1
本小須戸	92	32	2	1	−1	2
荒沢	63	26	2	1		3
大須戸	482	161	2	3	2	7
蒲萄	157	60	2	1	1	4
計	1,775	605	16	12		31

「 別 表 」

２、代議員の選出について

・代議員は、毎年１月１日の住民基本台帳の人口により、下表のとおり選出する。

（R2.1.1現在）

集落名	人口	世帯数	基本２名	100人に１名	選出人数
塩野町	436	142	2	4	6
松岡	68	26	2	1	3
早稲田	413	138	2	4	6
原小須戸	64	20	2	1	3
本小須戸	92	32	2	1	3
荒沢	63	26	2	1	3
大須戸	482	161	2	5	7
蒲萄	157	60	2	2	4
計	1,775	605	16	19	35

村上市塩野町地域

まちづくり計画書

平成２４年３月制定

平成 29 年３月変更

塩野町地域まちづくり協議会

この計画書は、塩野町地域内の各集落から推薦により選ばれた、地域まちづくり設立準備会委員が作成した計画書です。

実際にまちづくり組織が設立し、協議会の活動や取り組みにおいては、各地域の状況や地域住民の取組環境に弾力を持ち、発展しながらより良い協議会を運営して行きたいと考えています。

【参考様式第１号（条例第５条関係）

塩野町地域まちづくり計画

１．地域の特色、課題

塩野町地域は、朝日地区の北西部に位置し、北は山北地区に境しています。三面川水系高根川の上流、大須戸川・塩野町川の流域に塩野町・松岡・早稲田・原小須戸・本小須戸・荒沢・大須戸の集落が点在し、また、蒲萄山麓に位置する蒲萄集落を併せた計８集落から構成され、地形は北から南に暖斜しています。

当地域は、明治時代末の合併により、塩野町・松岡・早稲田・小須戸を有する塩野町村と蒲萄・大須戸・荒沢を有する大須戸村が合併し 61.2㎢ を有する塩野町村となりました。以降、昭和２９年町村合併促進法の施行によって、舘腰村・三面村・高根村・猿沢村・塩野町村の５ケ村が合併して朝日村となり、平成の大合併で現在の村上市となっています。

地域の基幹産業は、469ha を基盤とした農業と、昭和 59 年畜産基地建設事業により経営環境が整備され畜産業も盛んに行なわれています。また、ぶどうスキー場・新保岳などの観光資源が地域への誘客となっています。

交通面では、地域のほぼ中央を国道７号線が縦貫しており、これを基幹に県道・市道が集落間を結んでいます。特に国道７号線と並行する日本海沿岸東北自動車道の延伸により、近郊市街地との結びつきが密接になる反面、交通混雑・交通事故の多発・騒音公害など生活環境が悪化してきており、地域内の高速道路の開通を求める声が大きくなっています。

社会的条件としては、昭和の大合併直後にあたる昭和 30 年の旧朝日村人口が 19,184 人だったのをピークに、平成 23 年４月１日では、10,950 人となり、人口減少や少子高齢化の進行により地域活動や組織そのものが継続困難な状況になりつつある集落が現れようとしています。地域固有の伝統・文化などの財産を、守り育てながら地域コミュニティの活性化を図り、元気で輝く笑顔を後世に伝えていくことが課題となっており、地域の魅力や問題点についての共通理解を図り、自分たちの地域への感心や愛着を原動力に地域まちづくりを進めます。

２．地域のまちづくりの理念、将来像（目標年度：33 年度）

『交流と助け合いを通じて、いつまでも住み続けられる固有の環境を整える』を理念にかかげ、５つの将来像を達成するため、住民と行政が一体となり魅力あるまちをつくる。

（将来像）

・農業を行う環境が整って経営も安定し、新たな交流の創出と里山の保全が進んでいる。
・地域内外の交流が盛んになり、コミュニケーションのとれた賑わいが生まれている。
・地元学を学ぶ機会が増え、四季を通じたイベントや伝統行事が盛大に行われている。
・観光産業が発展し、若者の定住が増えている。
・地域内の相互扶助やボランティア活動が盛んになり、清潔で安心安全な生活が営まれている。

※平成 28 年度に計画見直しを行い、平成 29 年度から計画変更

3．具体的な取組みの方向性、実施事業等（計画年度：24 年度～33 年度）

基本方針	取組みの方向性や実施する事業
地元の農産物を生かし、地域住民が繋がりあえる取り組みや伝統文化の継承を行う	・地域農産物を流通させるしくみを作る。 ・地域の農作物を味わう催しを開催する。 ・地域内で地場農産物などを販売・購入する機会・場を提供する。。 ・地域おこし協力隊とも連携し、世代や集落を越えた地域全体の交流を促し、つながりを深める。 ・塩野町の食文化を伝承する取り組みを行う。
相互扶助の強化と、地域資源の環境整備を行う	・お宝マップを活用し、地域資源を生かすための取り組みを行う。 ・地域を支える人材を育成し、相互扶助及び小規模多機能自治を推進強化する。 ・環境美化活動を行う。
協議会の取り組みを広く周知し、情報受発信の仕組みを強化し、地域振興につなげる	・地域情報を掲載した印刷物をつくる。 ・まちづくりに関する学習機会や情報を提供し、地域振興につなげる。 ・集落行事を地域全体で盛り立てる仕組みをつくる。

4．事業計画年度（実施年度：24 年度～33 年度）

※●計画あり実施あり　※計画　●実施

基本方針	事業項目	H24～28 年度 事業実施状況					H29～33 年度 事業実施計画（見直し後）					備　考
		24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
地元の農産物を生かし、地域住民が繋がりあえる取り組みや伝統文化の継承を行う 【産業振興部門】 【交流・伝承部門】	地域農産物を流通させるしくみを作る。		●	●	●	●	※	※	※	※	※	
	地域の農作物を味わう催しを開催する。	※●	※●	※●	※●	※●	※	※	※	※	※	
	地域内で地場農産物などを販売・購入する機会・場を提供する。							※	※	※	※	
	地域おこし協力隊とも連携し、世代や集落を越えた地域全体の交流を促し、つながりを深める。	※●	※●	※●	※●	※●	※	※	※	※	※	
	塩野町の食文化を伝承する取り組みを行う。		※●	※●	※●	※●	※	※	※	※	※	
相互扶助の強化と、地域資源の環境整備を行う 【共助・観光部門】	お宝マップを活用し、地域資源を生かすための取り組みを行う。	※●	※●	※●	※●	※●	※	※	※	※	※	
	地域を支える人材を育成し、相互扶助及び小規模多機能自治を推進強化する。							※	※	※	※	
	環境美化活動を行う。	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
協議会の取り組みを広く周知し、情報受発信の仕組みを強化し、地域振興につなげる 【企画・広報部門】	地域情報を掲載した印刷物をつくる。	※●	※●	※●	※●	※●	※	※	※	※	※	
	まちづくりに関する学習機会や情報を提供し、地域振興につなげる。			●	●		※	※	※	※	※	
	集落行事を地域全体で盛り立てる仕組みをつくる。	※●	※●	※●	※●	※●	※	※	※	※	※	